

色鉛筆の分類

松 浦 はるみ

公立玉名中央病院 診療情報管理室

分類小委員会 委員

診療情報管理士指導者

専門課程 福岡会場（分類法） 講師

国際疾病分類 ICD に関わっている誰もが周知していることではあるが、分類とは同じ種類・類似集団を一定の法則に従って振り分けることである。ICD コーディングを行うにあたって、まず検索する傷病名を、国際疾病分類 (ICD10) 第 3 巻索引表で引き、第 2 巻内容例示表でルールを確認してコードを確定する。その一連の作業の中に、ICD コードの 4 桁目を内容例示表で判断しなければならない時がある。糖尿病や糸球体腎炎、外因などがその例である。また、新生物、膀胱癌などの境界部病巣 . 8 の考え方や DPC 分類でよく話題にされる . 9 の 4 桁分類の問題など、4 桁目はなかなか悩ましい問題がある。そのような問題を質問された時、私は色鉛筆の分類を例にとって話すことにしている。

小さい頃よく使っていた色鉛筆には 12 色や 24 色、なかには 100 色もある色鉛筆があるという。その色鉛筆を便宜的に、0. 赤色鉛筆、1. 青色鉛筆、2. 黄色鉛筆、3. 黒色鉛筆、4. 白色鉛筆、5. 緑色鉛筆、6. 紫色鉛筆、7. 複数の色鉛筆、8. その他の明示された色鉛筆（隣り合った色鉛筆）、9. 詳細不明の色鉛筆と 10 通りに分けてみる。

源氏物語にも登場する日本古来の花である蘇芳色の色鉛筆は、どこの色鉛筆に分類されるのであろう。まず蘇芳色がどんな色かを広辞苑で調べてみると、【蘇芳色】黒みを帯びた赤色とある。赤の種類には紅色、茜色、緋色、朱色などがあるが、蘇芳色もその仲間である。だとすれば蘇芳色は前述の 10 通りの分類では 0 ということになる。では赤色と青色の 2 本の色鉛筆はどこに分類されるのかと言えば . 7 複数の色鉛筆になる。また境界部病巣のルールを用いれば、同じ 2 本でも青色と紫色のように隣り合う色鉛筆では . 8 境界部の色鉛筆になる。もちろん色鉛筆は . 9 詳細不明である。

分類は簡単だと言う人もいるし、難しいと言う人もいる。どんな性質の疾病なのか、じっくりと向き合っ、て、疾病のプロセスを理解し、一つのコードにたどりついた時、その奥の深さに驚くとともに、小さな達成感がきっとあなたを待っている。